



Norwegian Ministry
of Education and Research

2030年に向けたノルウェーの乳幼児期の教育とケア（ECEC） – 政策動向と展望

Senior Advisor, Tove Mogstad SLINDE

2021年10月24日 佐野市、日本





- はじめに: 本日の舞台の紹介
- ノルウェーにおけるECEC
 - 実態
 - カリキュラムフレームワーク・プラン
- 2030に向けたECEC

はじめに

：本日の舞台の紹介



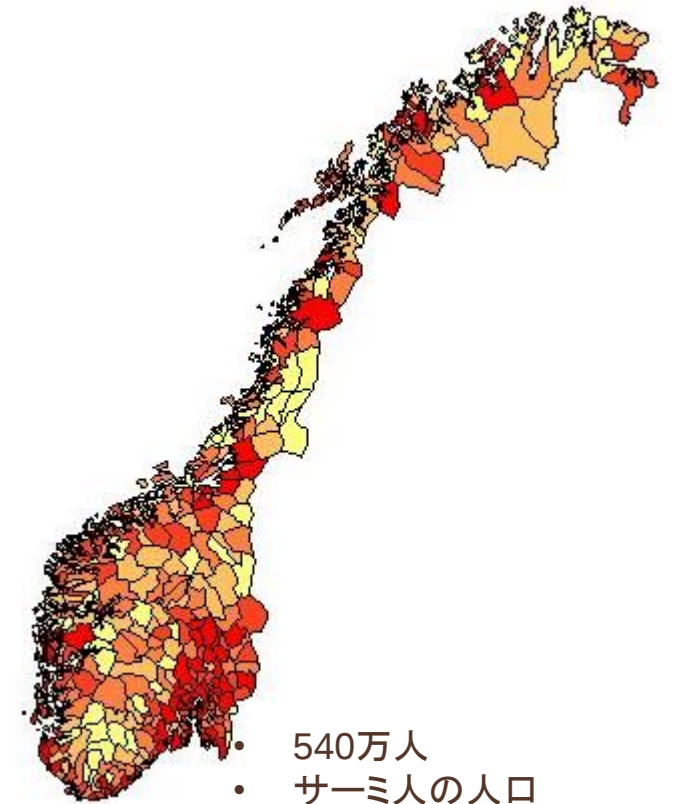
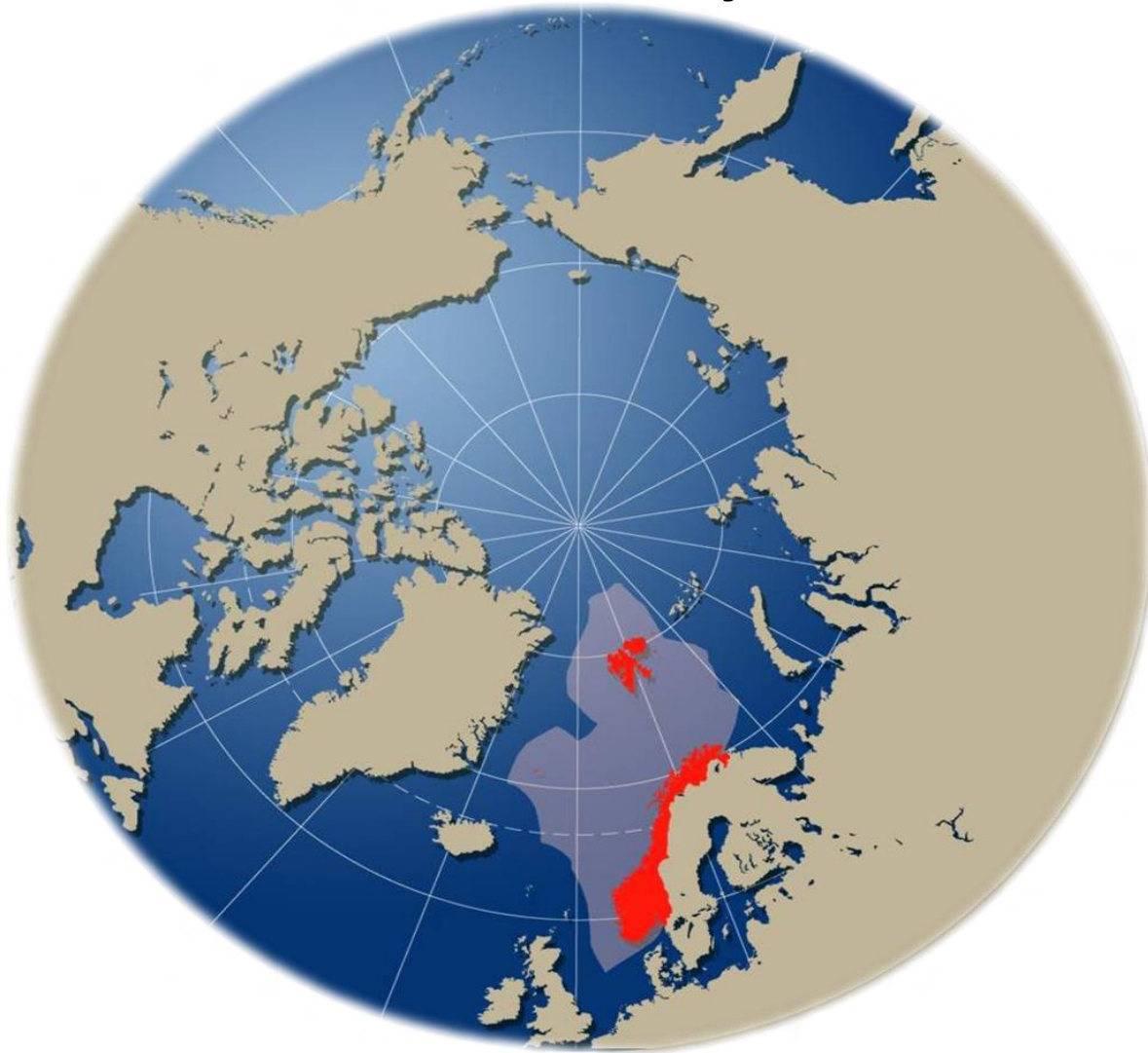
- 子どもの主体性
(agency) や 子ども本来
の学びの方略を尊重しな
がら、子どものウェル
ビーイング、乳幼児期の
発達、学びをECECの仕事
の核に据える

Starting Strong II 2006

子どもが有能で、好奇心があり、複雑な思考が可能で、可能性に満ちていると認識されたときに、子どもの強みや能力に価値をおき、それを基盤とした政策やプログラム、サービスが発展する可能性が高い。

Common understandings
ECEC network 2014

ノルウェー Norway



- 540万人
- サーミ人の人口
 - ・ 65のキンダーガーテンに914人の子ども
- 356 基礎自治体
 - ・ オスロ 673,000人
 - ・ ウトシラ島 201人
- 18 県



ノルウェーのECEC

ノルウェーにおけるECEC- 概観

~子ども 280,000人

- 1-2 歳: 83.5%
- 3-5 歳: 97.1%
- 全日保育 95.5% (+ 週あたり41時間)

~キンダーガーデン 5,900施設

- 98.6% 幼保一体型保育施設(Center-based Kindergartens)
- 1.4% 家庭型保育施設(Family Kindergartens)– 家庭を拠点、ガイド有
- + オープン保育施設(Open Kindergartens)” – プレイグループ(playgroups) 、ガイド有
- 54% 私立 (公的な助成を受けている)
- 46% 公立 (地方自治体)
- 助成: 86.4% 公的助成
13.5% 保護者負担の保育料(parents fee)



ノルウェーにおけるECEC- 概観

~職員 80,000 人

- 職員:教諭やアシスタント
 - ・子ども 比率
1:7 と 1:14
 - ・職員:子ども 比率
1:3 と 1:6
- 9,9% 男性
- キンダーガーデン法 1975, 1995, 2005
- フレームワーク・プラン (カリキュラムの枠組み): 1996, 2006, (2011),2017
- 1 歳以降は保育 (ECEC) を受ける法定権利 (2009)*
- 幼い子どもの母親の85%がパートタイムもしくはフルタイムで働いている

新規制
2018/2019



ノルウェーのキンダーガーデン “カリキュラムの枠組み”

包括的な教育哲学

- ケア、遊び、学びと人間形成 dannning(bildung/formation)とともに

- 北欧モデル
 - エデュケア：教育 + ケア
 - 子ども期の本質的価値
- 遊びベース (Play-based)
- 子ども中心 (Child-centered)
- ウェルビーイングと楽しさ
 - 創造への情熱 Creative zest
 - センス・オブ・ワンダー Sense of wonder
 - 探究を求める気持ち Need to investigate
- 言語および社会情動的発達



- すべての子どものケア、安全、所属感、尊重に関するニーズに応え、子どものコミュニティへの参加・貢献を可能にする
- Framework Plan for kindergartens into force 1st of August 2017. <https://www.udir.no/in-english/framework-plan-for-kindergartens/>

カリキュラムのフレーム ワーク（枠組み）

カリキュラムフレームワーク・プラン－価値観とトピック

子どもは、能動的に、
積極的に関わってい
るときに、最もよく
学ぶ

やりとり/相互作用
は、頻繁に行われ、
有意義なものである

カリキュラムはこれ
までの学びの上に構
築される



ノルウェーの改訂版カリキュラムの枠組み 2017

- 義務の明確化
- 強化された点
 - 民主主義、多様性、平等
 - 持続可能な開発
 - 生活スキルと健康
 - 言語
 - 移行（トランジション）
- 排除やハラスメントの予防・中断・対処に関する責任
- 最も若い子どもたちへのさらなる配慮

1. 中心的価値観
2. 役割と責任
3. ねらいと内容
4. 子どもの参加
5. キンダーガーテンと家庭の協力
6. 移行（トランジション）
7. 教育の担い手としてのキンダーガーテン
8. 活動の方法（working method）
9. 学びの領域

子どもと 子ども期

キンダーガーデンは子ども期の本来の価値を尊重し、守る。

子どもは個人として歓迎されるべきであり、キンダーガーデンは子どもの経験世界を尊重する。

子どもの生活は環境によって形作られるだけではなく、子ども自身も自身の生活に影響を与える。

キンダーガーデンは子どものそれぞれに異なる能力、視点、経験を考慮し、子どもが、他者とともに、自らとポジティブな関係を築き、自らの能力に自信がもてるようにする。

民主主義

多様性や個人化が増す時代において、共に暮らすにするためには、民主主義に関する理解、違いの尊重、ポジティブな態度が必要である。

キンダーガーテンのコミュニティに参加することで、子どもは、自身が生きる社会や世界について理解を深めることができるようになるだろう。

キンダーガーテンは、すべての人が自己を表現し、自身の声が聴かれ、参加できるような包摂的な(インクルーシブな)コミュニティである。

多様性と 相互尊重

キンダーガーデンは、多様性や相互尊重を重視し、これに価値をおき、促すことで、人間の尊厳に対する敬意を促す。

子どもが、考え、行動し、生きるにはたくさんの方法があることを発見できるようにする。

キンダーガーデンはさらに、子どもたちに共通の経験をもたらし、コミュニティの価値を強く示す。

キンダーガーデンは、すべての人が互いから学べることを示し、類似や差異に対する子どもの好奇心や「センス・オブ・ワンダー (sense of wonder)」を促す。

公平と平等

キンダーガーデンは性別、機能的な能力、性的指向性、性同一性と表現、民族性(エスニシティ)、文化、社会的地位、言語、宗教、世界観に関わりなく、公平性と平等性を促す。

キンダーガーデンは、あらゆる形の差別と闘い、思いやりを支え促す。

すべての人が、キンダーガーデンのすべての共通の活動に参加するために、目を向けられ、聴かれ、励まされる機会を同様に得られるようにする。

持続可能な 開発

子どもは自身や他者、自然を大切にできるよう学ぶ。

キンダーガーデンは、子どもたちが今日の行動が未来に影響をもたらすことを理解する手助けをする。

キンダーガーデンは、子どもたちの、批判的(クリティカル)に考え、倫理的に行動し、連帯感を示す力を育む。

子どもは、身の回りや自然環境の世話をする機会を与えられる。サーミの子どもにとって、これは、土地と調和して生き、土地を活用し、土地から収穫することを意味する。

子どもは自然界の多様性を発見できるよう、屋外での経験を与えられるべきであり、キンダーガーデンは、子どもが自然とつながりを感じられるよう手助けをする。

生活スキル と 健康

キンダーガーデンは健康を促進し、予防的役割を担い、社会的
不平等を是正する手助けをする。

キンダーガーデンは、子どもの身体的・精神的健康を促進する。

キンダーガーデンは、子どものウェルビーイング、幸福
(happiness)、達成、自尊心に貢献するべきであり、差別やいじ
めと闘う。

キンダーガーデンは、子どもがやりとり/相互作用、コミュニティ、
友情のさまざまな側面で試してみることができる、安全で、挑戦
できる場所である。

子どもは逆境に対処し、課題に取り組み、自分や他者の気持ちを
探索するにあたってサポートを与えられる。

キンダーガーテンは人格形成の発達を 支え促す

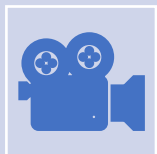
- キンダーガーテンは、子どもが探索的・探究的に身の回りの世界にアプローチすることをサポートし、民主的なコミュニティへの勇気ある、自立した、責任ある参加の基礎を築く手助けをする。
- キンダーガーテンでは、子どもが、意思決定プロセスや共有コンテンツの作成に参加できるようにする。
- キンダーガーテンはやりとり/相互作用や対話、遊び、探索を用いて、子どもの批判的思考力や倫理的判断、抵抗する力、変化をもたらす行動をとる力を育む手助けをする。

カリキュラムフレーム・プランの実施



職員の力量向上のための方略

2018-2022



教育訓練庁からの

リソース

動画

案内資料



フレームワーク・プランについて参照する
ためにキンダーガーデンの中で可視化する
ツール

(ポスター)



2030に向けたECEC

質を保障し、向上させるための戦略



ノルウェーのECECに関する最新の研究からわかったことは？

BePro プロジェクト

- ノルウェーのキンダーガーテンの質は中程度で、ばらつきが大きい
- 最高点は9%のみ

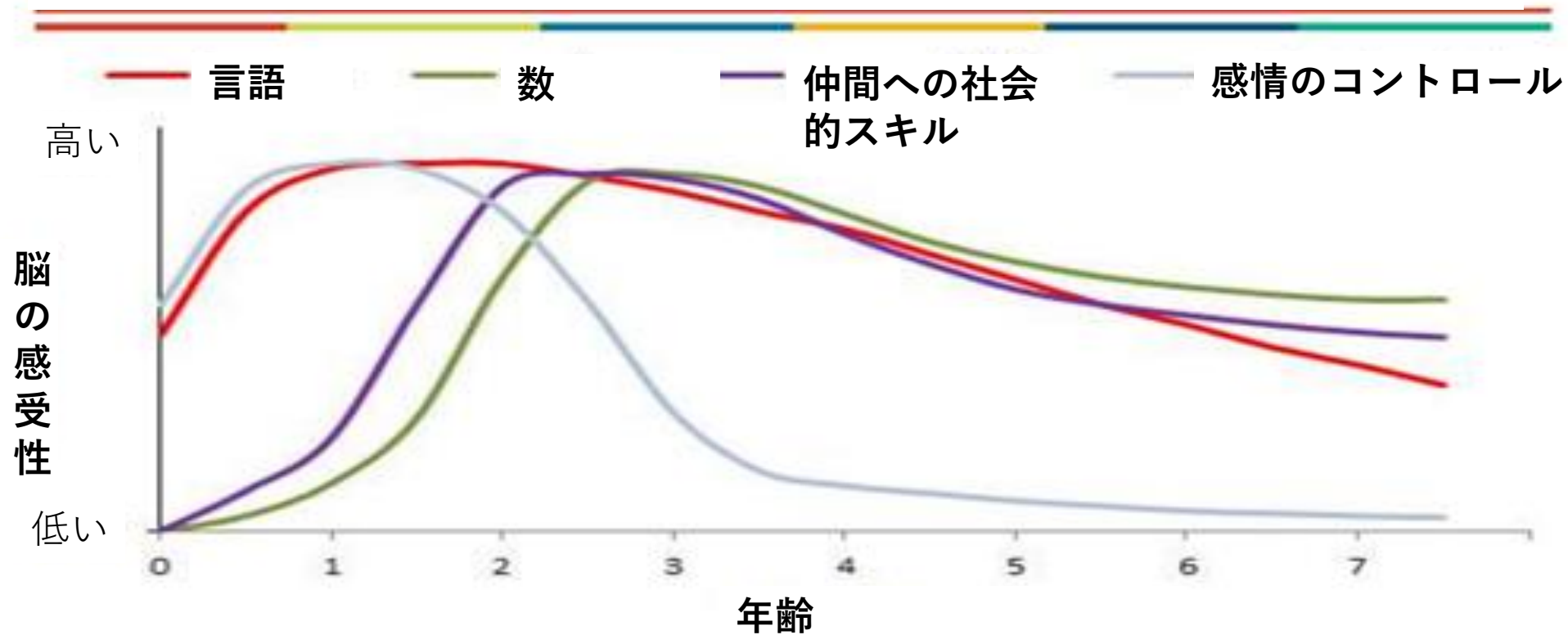
スタバングル大学 – スタバングル調査 (Stavanger Study)

- 2歳半ですでに、言語やコミュニケーション・スキル、数学的認識の芽生え、社会的能力、運動スキルにおいて大きなばらつきがある
- 適切なサポートを得られない場合、課題のある子どもは社会的に取り残され、発達や学びの機会を逃してしまう

遊びベースの学び – アグデル調査 (the Agder Study)

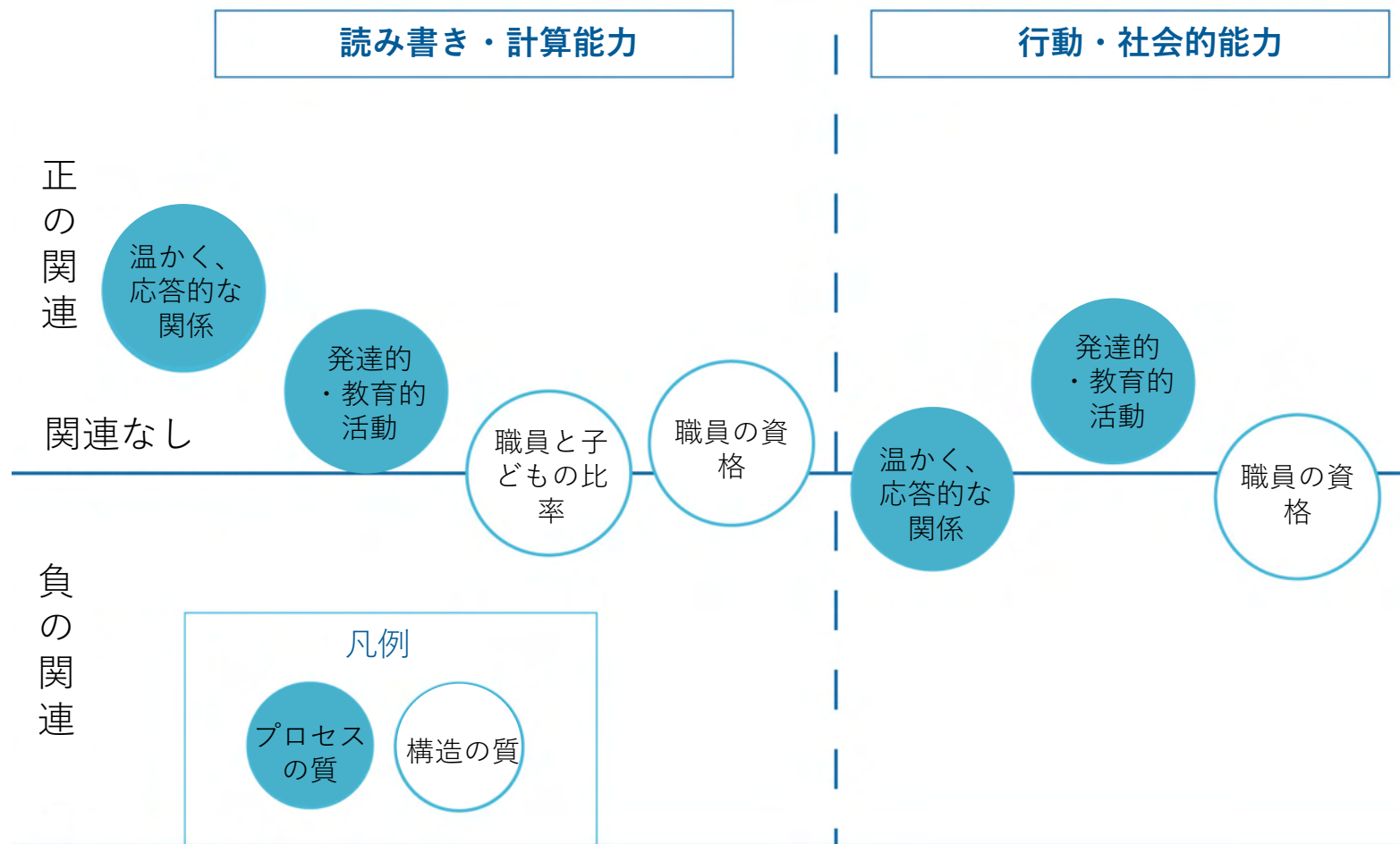
- キンダーガーテンの質によって、子どもの学びには大きな違いがある。質の低いキンダーガーテンに通園している子どもに対して、介入の効果があった。

発達の非常に重要な領域に関わる脳の感受性は、 子どもの人生の最初の3年間でピークに達する



メタ分析と文献研究

- 子どもとの関わり





政府はすでに質を強化するための対策を講じてきたが、今も質にはばらつきがある。

そのため、大臣はセクターを超えて関係者を招き、すべての子どもが、
背景、居住地、状況にかかわらず質の高いキンダーガーデンに通うことができるようにするため、2030年に向けて構築すべき政策について対話を行った。

問いは、いかにして、国・基礎自治体の対策、法令や規制、協議や指導、権威や責任、事業者（オーナーシップ）、助成やモニタリング、能力とECECの従事者に関する政策が、
連携して上記の目標達成に貢献することができるか、ということに関わるものだった。

知識基盤

- ノルウェーのECECに関するアップデートされた研究知見
- カリキュラムフレームワーク・プランの実施に対する初めての評価報告書
- キンダーガーテン教師の役割に関する専門家グループからの報告
 - キンダーガーテンの組織に関する新しい方法、新しい役割、専門的な学びの共同体
- 新しいキンダーガーテン教諭の養成を追跡しているグループからの報告
- キンダーガーテンの質保障のためのシステム（System for Quality in Kindergartens）に関する評価
- 数多くの戦略に対する評価
- 助成のメカニズムや効果に関する報告

”
キンダーガーテンは
自信をもって子ども
を迎え、子どもを尊
重し、子ども期の本
質的価値を
認識する。

1. 2030に向けたECECの質

- 目的：すべての子どもが、居住地や入園しているキンダーガーテンを問わず、質の高いECECを提供される。
 - 将来に向けたECEC施設
 - この戦略は、2030年に向けた質の向上に対して、すべての関係者が共同作業に従事することを可能にするだろう
 - **継続と革新**
 - すべての子どもの最善の利益のための質の高いキンダーガーテンを
 - 子ども期に価値をおき、教育制度の一部として、包摂的な（インクルーシブな）環境においてサポートを提供する



”

子どもは、キンダーガー
テンの計画や評価に積極
的に参加する可能性を有
する。



2. 質の高いECECには、有能な職員 と継続的な質の向上が求められる

- 目的：すべてのECECは、質を発展・向上させるために、組織的に機能し体系的な活動を行い、**適切な資質をもつリーダーや職員をもつ、専門的な学びの共同体（professional learning community）**である。
- 良い質の提供のために何が必要か？
- 可能性と課題
 - カリキュラムフレームワーク・プランに関する評価
- 次の10年の優先事項
 - 体系的な教育の取り組み
 - ECECの従事者の強化

”

キンダーガーテンの日常における高い質を可能にするためには、セクターの全てのレベルのアクターの協力が必要



3. 継続的な質向上のためのガバナンスとサポート

- 目的: すべてのECECは、その質を向上させるため、キンダーガーテンの所有者、基礎自治体・国や他の関係者によって**サポート**されている。
- 役割と責任
- 可能性と課題
- 次の10年の優先事項
 - 質の向上のための体系的な取組をサポートする
 - 高い質のためのツールとしてのガイダンスとモニタリング
 - 共同的な努力 – すべてのアクターの関与

新政府 2021年10月

未来のための知

よいキンダーガーデンは、子どもたちによいスタートを提供する

- 平等な機会、包摂性の経験、連帯感、友情
- 職員は、子どもたちのために共に時間とスキルを使う際に、信頼感をもち、サポートを受ける
- ECECのコンピテンスを高める方法を強化する
 - 教諭の割合についての目的と野望の再確認
 - 子どもと青年のケア労働者の割合の増加について、より具体的に検討する
- 子どもにとって十分な数の職員を保障できるように、職員と子どもの割合を強化する
- 移民や社会経済的地位の低い世帯の割合が高い地域で、キンダーガーデンの質を高めるための政策を強化する
- 保護者負担の保育料の低減



Norwegian Ministry
of Education and Research

ご清聴ありがとうございました。

tsl@kd.dep.no

Photos :

Film Director ECEC the Nordic Way: Halvard Bræin

Pål Hermansen

Sveinung Bråthen

Halvard Bræin

Gjerholm design

翻訳：石井悠（Cedep）

翻訳監修：秋田喜代美（学習院大学） 中田麗子（Cedep）

野澤祥子（Cedep） 淀川裕美（千葉大学）



Nature and play are key elements in the pedagogical practice

“Snow is like rain.
Only slower.
And colder.

If you hold still and let it fall on your nose, it tickles!

I lost a tooth once.
We were sledding and then we crashed.
But it was OK because the tooth was loose anyhow.

How can you crash really hard into something really soft?

The small children sleep outside even when it's cold.
They don't mind because they have really warm sleeping bags.
I'm *always* warm -even if it's cold.
Cause I play so much.

自然と遊びは、教育的実践（pedagogical practice）における重要な要素

「雪は、雨みたいなもの。
遅いだけ。
あと、もっと冷たい。

じっとして鼻に落ちるようにすると、くすぐったい！

1 回、歯がなくなったことがある。
ソリをしていたら、ぶつかっちゃって。
どうせぐらぐらしていたから、いいんだけどね。

どうしてあんな柔らかいものに、激しくぶつかることができるの？

小さい子たちは、寒い時でも外で寝る。
でも、とっても温かい寝袋があるから、気にしてない。

私は寒い時でも、いっつもあったかい。
たくさん遊ぶからね」